

2025年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
徒手検査法実技											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	実技	時間数	30	単位	1
担当教員	加藤健太			実務 経験	有	職種	柔道整復師				
授業概要											
部位別に具体的な外傷の修復・固定や治療に至るまでの注意事項を学びます。											
到達目標											
臨床現場に十分に堪えうるよう、各部位別、各損傷ごとに軟部組織損時に加わる力の特徴やそれに影響を与える要素、それぞれの損傷の概説、分類、発生機序、徒手検査法、症状、治療法、固定法、治癒経過、治癒に影響を与える因子、予後、合併症、鑑別診断を要する類症などについて正確に口述し、視診、触診、整形外科的テスト法を正確に実施すること（認定実技審査で問題なく合格できるレベル）を到達目標にしている。											
授業方法											
プリントを用いる。1年次に学んだ運動器、特に軟部組織の基本的な構造と機能、2年次に学んだ各部位の軟部組織損傷の知識を基に、身体各部位の損傷について徒手検査法の意義、意味、動きを理解し、正確な実技を実施、口述できるようになるよう授業を進める。											
成績評価方法											
全体の70%は試験と課題を総合的に評価する。残り30%は授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。											
履修上の注意											
柔道整復師の業務内容そのものを学ぶので、身だしなみに注意を払い（KC着用、爪は綺麗に、装飾品は外すなど）、医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書（包帯固定学公益社団法人全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	股関節の軟部組織損傷における徒手検査法(鼠径部痛症候群～ばね股)										
第2回	股関節の軟部組織損傷における徒手検査法(大腿骨頭すべり症～変形性股関節症)										
第3回	股関節・大腿部の軟部組織損傷における徒手検査法(大腿骨頭壊死症～大腿四頭筋肉離れ)										

## 柔道整復科

## 徒手検査法実技

第4回	大腿部・膝関節の軟部組織損傷における徒手検査法(ハムストリングス肉離れ～プラント病)
第5回	膝関節の軟部組織損傷における徒手検査法(離断性骨軟骨炎～ジャンパー膝)
第6回	膝関節の軟部組織損傷における徒手検査法(有痛性分裂膝蓋骨～十字靭帯損傷)
第7回	股関節～膝関節の徒手検査法について復習
第8回	膝関節の軟部組織損傷における徒手検査法(腸脛靭帯炎～ベーカー嚢腫)
第9回	膝関節の軟部組織損傷における徒手検査法(変形性膝関節症～コンパートメント症候群)
第10回	下腿部の軟部組織損傷における徒手検査法(アキレス腱断裂～下腿三頭筋損傷)
第11回	足部の軟部組織損傷における徒手検査法(距腿関節損傷～ショパール関節損傷)
第12回	足部の軟部組織損傷における徒手検査法(リスフラン関節損傷～セーバー病)
第13回	足部の軟部組織損傷における徒手検査法(有痛性三角骨障害～モートン病)
第14回	膝関節～足部の徒手検査法について復習
第15回	軟部組織損傷全体の徒手検査法について総復習